

# 複式学習指導実践事例（同単元指導による外国語活動）

複式第5・6学年 単元名：「ようこそ奄美大島へ ～笠利町の魅力を紹介しよう～」《本時3／9》


## ○ 第5学年目標

- 笠利町のおすすめの場所について紹介をしたり、友達のおすすめの場所を聞いたりしようとする。
- おすすめの場所を紹介する表現に慣れ親しむ。

## ○ 第6学年目標（※ 下線部は第5学年との違いを表す。）

- 友達に好きかどうか尋ねながら笠利町のおすすめの場所について紹介をしたり、友達のおすすめの場所を積極的に聞いたりしようとする。
- おすすめの場所を紹介する表現に慣れ親しむ。

【C】：チャンツ 【L】：Listen 【G】：Game 【W】：Write 【言】：言語活動

過程	学習課題と主な学習活動	各学年の活動及び指導上の留意点, ALTとの連携	
		第5学年	第6学年
導入 10分	1 Warm up (1) あいさつをする。 (2) アルファベットジングルを聞いて、口ずさむ。  2 Small Talk をする。 ・ 大崎町のおすすめの場所について担任の先生と対話する。  3 本時の目標を確認する。 Today's Task <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>笠利町にあるおすすめのことを伝える言い方になれよう。</b> </div>	各学年の活動及び指導上の留意点, ALTとの連携  ○ デジタル教材にあるアルファベットジングルを扱うことで、文字の音に慣れ親しむことができるようにする。  ○ 教師が、児童とやり取りをしながら前任校の町のおすすめ場所を紹介することで、児童がALTに紹介する際のイメージがもてるようにする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     Small Talk                      T: I came from Osaki. I like Osaki town. We have a park. It's big. And we have hot springs. You can relax. Do you like hot springs?                      S: Yes!                      T: Oh, you like hot springs too? I like hot springs too.                 </div>	
展開 30分	4 Activity①（インプット中心の活動） (1) 担任とのやり取りを通して場所を表す語句を振り返るとともに、新しい表現 We have～. に触れる。【G】場所  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     T: We have many good places. Look. What's this?                      S: Ayamaru Park!                      T: Yes, it's Ayamaru Park. Look. This is a map of Kasari. Where is Ayamaru Park?(黒板の笠利町の地図を差しながら)                      S: Number 2!                      T: That's right. Ayamaru Park is....here! (地図上に貼る)                      We have Ayamaru Park. (他の場所も同じように貼っていく)                 </div> (2) グループでの町づくりゲームを通して、We have～.の表現に慣れ親しむ。【G】町づくりゲーム  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     《ルール》                      ① 児童は各自、場所が描かれた11枚の絵カードから好きな場所を5か所選ぶ。                      ② 学年別のグループを作り、友達に好きな場所を一つ伝える。                      ③ 聞いている児童は、自分もその場所を好きかどうか（カードを持っているかどうか）を伝える。                      ④ グループのメンバーが全員好きな場所であれば、「町のおすすめ場所」として、その絵カードをホワイトボード（町の地図）の上に乗せて、一緒に「We have ～.」と言う。                      ※ 好きな場所が一致しない場合は、そのカードはホワイトボードの外に置いていき手持ちのカードがなくなるまで繰り返す。                 </div>	○ これまでに扱った場所を表す言葉を使って児童とやり取りをしながら、場所の写真を We have～.と言って町の地図上に掲示していくことで「町には～がある。」という意識をもたせ、「We have ～.」の表現をインプットできるようにする。 ○ 自然なやり取りの中で一斉に言わせることで、自信のない児童も安心して言うことができるようにする。 ○ 絵カードには、文字を示すことによって、徐々に文字にも慣れ親しめるようにする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     park, beach, ice cream shop, museum, airport, restaurant など                 </div> 	
		（第5学年） ・ “I like ～.” を使い、自分の町のおすすめの場所を言ったり相手のおすすめの場所を聞き取ったりする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     A: I like ～.                      B: Oh, you like ～. Me too.                      C: I like ～ too.                      (絵カードをホワイトボードに置いて)                      ABC: We have ～.                 </div>	（第6学年） ・ “Do you like ～?” を使い、相手に尋ねながら、自分のおすすめの場所を伝えたり、相手のおすすめの場所を聞き取ったりする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     D: Do you like ～?                      E: Yes, I do.                      F: Yes, I like ～ too.                      (絵カードをホワイトボードに置いて)                      DEF: We have ～.                 </div>
	5 Activity②（アウトプット中心の活動） (1) 学級全体での活動で、自分たちのグループのおすすめの場所を他のグループに伝える。【言】学級のおすすめの場所 (2) ワークシート上のおすすめの場所を表す語句の綴りを、口に出しながら4線に気を付けてなぞり書きをする。 【W】おすすめ場所の語句をなぞり書き  <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">第5学年：BEACH</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">第6学年：beach</div> </div>	○ 各グループの町のおすすめを紹介し合う活動を行うことで、相手に “We have ～.” の表現を使って紹介できるようにする。 教師は各グループの紹介を聞いて、Oh, we have ～.と児童の発表を繰り返しながら全体黒板の地図上に絵カードを貼っていく。 ○ 本時で扱ったおすすめ場所を表す語句の綴りを口に出しながらなぞり書きをすることで、語句はアルファベットがつながってできているということを意識させる。第5学年は大文字、第6学年は小文字をなぞり書きさせる。教師が意図的に選んだ語句を取り扱う。	
終末 5分	6 Review (1) 振り返りカードに記入し、学習したことを振り返る。 (2) あいさつをする。	○ 目標の観点に沿って5段階の自己評価と、気付いたこと・考えたことを振り返りカードに記入させる。 ○ 場所の語句に慣れ親しんだことや “We have ～.” の表現に関する気付き、ALTへ紹介することへの意欲などの記述をしている児童を意図的に指名して発表させ、共有化を図る。	

※ 本指導案の詳細（細案）は、鹿児島県総合教育センターウェブサイト（「調査研究、研究提携校学習指導案」）を御覧ください。